

# なぜ？なぜ？先生

～みんなの不思議～



仏参のとき、  
どうしてお行儀  
よくするの？

阿弥陀さまにお参りにする時に先生から「お行儀よくしましょうね」って言われることがありますよね？

- ・食事中はしっかりと座って背筋を伸ばして、肘をついたり大声で話しながら食事したりしない
- ・靴を脱いだら揃える
- ・公共の場では大声を出したり、他人に迷惑をかけることをしない
- ・人と会ったらあいさつをする

など、お家でもお父さんやお母さんから同じようなことを言われたことがあると思います。

「行儀作法が人を作る」ということわざがイギリスにはあるそうです。

人は人格よりも、行儀作法で判断されやすいものであるという意味だそうです。

では、「お行儀よくしましょう」とはどういう意味なのかをみていきましょう。

行儀という言葉調べてみると「作法にかなうかどうかという点からみた立ち振る舞い」とありました。そしてもともとは仏教用語だったそうです。「行」は「仏道修行」の略語であり、「儀」は規制や法則を意味することから、「行儀」とは修行や実践に関する規則や行事の儀礼を表す言葉として使われていたそうですが、これがいつしか一般の人が使うようになって、立ち居振る舞いを表す今のような使われ方をするようになったそうです。

このような意味を知り、仏教から来た言葉だと知ったらお参りの時間はお行儀よくすることの大切さをすごく実感しますね。

心を落ち着かせて、静かに手を合わせると自然に背筋も伸びてきます。「阿弥陀さま、いつでも、どこでも、どんなときにも見守ってくださってありがとうございます」感謝の気持ちを忘れないでお参りしましょう。

人に「ありがとう」の気持ちを伝える時に、ふざけたり、あそびながらなんかしないでしょ。

日々の繰り返しで自然に身につけていきます。

常日頃から生活の中で自分の立ち振る舞い方、つまり「お行儀よく」を意識していきましょう！！